

○取組の概要

- 地域農産物を生かした高付加価値加工品の生産
- 地域農産物の安定的な集出荷体制の確立
- 規格外農産物の利用による農家所得の向上



カボチャピューレ

【取り組むに至った経緯】

- 平成11年から「がんずうネギ」等としてブランド化した農産物を自ら販売するとともに、地域農家へも技術指導を行って集荷販売。(※「がんずう」とは宮古島の方言で丈夫、元気、長寿を意味する。)
- 県内大手スーパーの他、九州のスーパーへも出荷・販売。
- 集荷したかぼちゃ等の貯蔵施設の確保や農家へ返品していた規格外農産物の高付加価値化(カボチャピューレ等)。

【生じた課題への対応方法】

- 集出荷貯蔵施設及び処理加工施設を整備し島内及び島外出荷体制の強化

【取組の効果】

- 売上高 900万円(H11)→1億8,000万円(H21)
- 雇用数 3人(H11)→20人(H21)
- 契約農家の増加 1戸(H12)→70戸(H21)

【取り組む際に生じた課題】

- 集荷品の品質劣化及び貯蔵方法
- 規格外品を活用した新たな商品開発

【活用した支援施策(補助事業等)】

- 地域農業経営確立支援事業(H10 農林水産省)
- 経営体質強化施設整備事業(H13 農林水産省)
- 新山村振興等農林漁業特別対策事業(H17・18 農林水産省)

【今後の展望】

- 入荷量を増加させることにより加工施設の稼働率を高め農業所得の向上を図る

成功のポイント！！

- 付加価値の高い加工品の生産
いままで利用価値が低かった規格外農産物を利用することにより農家の栽培意欲の向上
- 施設の整備により安定的な集出荷が実現
- 地域一体となった地産地消の活動
地域学校給食センターへの供給により地産地消農産物の増加
JA, 地元認定農業者協議会や生活改善グループとの連携